



←久保^{いそろく}五十六さんが撮影した、かぼちゃを食べる野生の猿

かぼちゃを石の上で割り、脇に抱え移動する野生の猿↓



★ 長島町内で野生の猿が出没 野生猿にご用心

12月に入ってから、長島町内で野生猿の目撃情報が多数寄せられています。

川床下集落の久保^{いそろく}五十六さん宅の裏山に12月11日、野生の猿が現れました。

この日、久保さんが自宅裏に居たところ裏山の方で物音がし、振り返ったところ、猿が大きな石の上で熟したかぼちゃを割り始めました。見ても逃げずにそのまま居たため、すぐカメラを手にし見事に写すことに成功したとのこと。その後は、割ったかぼちゃを脇に抱え込み、隣の石でおいしそうに食べ始め、食事が終わると山に帰って行きました。久保さんは「このごろ猿を良く見かける。子どもや高齢者に何もしなければいいですけど」と不安げに話しました。

このほか、鷹巣近辺や指江近辺、道路沿いでは町道指江川床線などでも目撃情報が寄せられています。

まちの話題

2

★ 食と健康について学ぼう 伊唐小学校食育出前授業

伊唐小学校（山川哲郎校長）で12月1日、子どもと保護者を対象とした食育出前授業がありました。

この日は、長島町食生活改善推進員と役場保健衛生課職員を講師に迎え「食と健康」について、学校と家庭が連携しながら健康増進を図ろうと計画されました。学童期の食事について講師から「嫌いなものを克服するのではなく、好きなものを増やすよう心がけて」とアドバイスを受けました。

この後保護者は栄養バランスや料理の仕方などについて講義を受け、児童らは自分にあった食事の量が分かる“手ばかり”で毎食必要なご飯の量を手に乗せ実感していました。3年生の赤池陽樹くんは「牛乳やチーズが苦手なので4年生になるまで好きになりたい」と抱負を語りました。最後は、子供たちが苦手な大豆やごぼう、ヒジキなどが入った試食もあり、食生活を見直す良い機会となりました。



↑1回の食事で必要な“手ばかり”のご飯



←保護者に「食育の日」を説明する長島町食生活改善推進員